

平成21年12月定例会会議録（第4号）

平成21年12月8日 火曜日 午前10時00分開議

町 田 義 昭 議 長 鈴 木 武 次 副議長

出席議員（18名）

1番	竹 田 博 一	議員	2番	鈴 木 悟 司	議員
3番	我 妻 昇	議員	4番	大 道 寺 信	議員
5番	谷 口 栄 子	議員	6番	蒲 生 光 男	議員
7番	佐々木 謙 二	議員	8番	安 部 隆	議員
9番	渋 谷 佐 輔	議員	10番	高 橋 孝 夫	議員
11番	大 沼 久	議員	12番	藤 原 民 夫	議員
13番	鈴 木 良 雄	議員	14番	小 関 勝 助	議員
15番	鈴 木 武 次	議員	16番	鈴 木 新 助	議員
17番	蒲 生 吉 夫	議員	18番	町 田 義 昭	議員

欠席議員（0名）

説明のため出席した者

内 谷 重 治	市 長	新 野 潔	副 市 長
	総務課長兼選挙管		
飯 澤 常 雄	理委員会事務局長	平 英 一	財 政 課 長
遠 藤 健 司	企 画 調 整 課 長	松 木 英 司	税 務 課 長
宇津木 正 紀	市 民 課 長	田 村 明	健 康 課 補 佐
船 山 祐 子	福 祉 事 務 所 長	高 橋 信 夫	会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長
矢久保 浩	消 防 主 幹	飯 田 武 志	監 査 委 員
加 藤 弘 二	教 育 委 員 長	大 滝 昌 利	教 育 長
遠 藤 誠 一	選 挙 管 理 委 員 会 委 員 長	鈴 木 榮 一	農 業 委 員 会 会 長
遠 藤 正 明	農 林 課 長	齋 藤 理 喜 夫	商 工 観 光 課 長
鈴 木 一 則	建 設 課 長	平 進 介	管 理 課 長
那 須 宗 一	文 化 生 涯 学 習 課 長	渡 部 政 明	農 業 委 員 会 事 務 局 長
鈴 木 要 一 郎	上 下 水 道 課 長	佐 藤 孝 博	学 校 給 食 共 同 調 理 場 長
鹿 間 忠 二	監 査 委 員 事 務 局 補 佐		

+

事務局職員出席者

松本 弘 議会事務局長 小関 浩幸 補 佐
高橋 由美 主任 塚田 知広 主任

議事日程（第4号）

平成21年12月8日 火曜日 午前10時00分開議

- 日程第 1 市政一般に関する質問
12番 藤原 民夫 議員
10番 高橋 孝夫 議員
5番 谷口 栄子 議員

本日の会議に付した事件

議事日程（第4号）に同じ

+

+

+

開 議

○町田義昭議長 おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員はございません。よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

なお、中井 晃健康課長、青木邦彦監査委員事務局長が欠席のため、田村 明健康課補佐、鹿間忠二監査委員事務局補佐が出席しておりますが、鹿間忠二監査委員事務局補佐については午前中のみの出席となりますので、ご報告いたします。

初めに、市長から4日と昨日の本会議での発言を訂正したい旨の申し出がありますので、これを受けることといたします。

内谷重治市長。

○内谷重治市長 おはようございます。

12月4日並びに7日開会の本会議におきまして、蒲生吉夫議員からの新型インフルエンザ予防接種による健康被害の救済等に関する特別措置法に関する質問に対し行いました答弁について、おわびして訂正させていただきたいと存じます。

新型インフルエンザワクチン接種による健康被害が出た場合の救済措置についてのご質問でございましたが、その時点では特措法の法案成立が確認できてなかったため、私も健康課補佐も特措法法案が廃案になった場合の対応についてお答え申し上げたところでございました。

会議終了後、経過と詳細を調査したところ、新型インフルエンザ予防接種による健康被害の救済等に関する特別措置法は、11月30日に可決成立したことが確認されました。したがって、予防接種法、国家賠償法ではなく、この特

措法に基づき、副作用が起きた場合の給付金の支給、副作用被害等に関する企業への国の損失補償が実施されることとなります。情報収集が不十分だったことをおわび申し上げ、訂正させていただきたいと存じます。よろしくお願ひ申し上げます。

○町田義昭議長 本日の会議は、配付しております議事日程第4号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

○町田義昭議長 日程第1、市政一般に関する質問を昨日に引き続き行います。

それでは、順次ご指名いたします。

藤原民夫議員の質問

○町田義昭議長 順位6番、議席番号12番、藤原民夫議員。

(12番藤原民夫議員登壇)

○12番 藤原民夫議員 私は、通告しております3点について、市長、教育長並びに文化生涯学習課長に質問をいたすものであります。

その第1点は、地域活性化策の一助として、資源ごみの売却益を持ち家住宅のリフォーム資金として活用していくために、市民の皆さんに還元しながら暮らしをサポートしていく事業を創設するという点について、市長の答弁を求めるものであります。

今、年末を控えて、政府がデフレを宣言する事態の中で、中小業者の経営状況は一向に好転せず、一層の苦難が厳しく襲いかかっております。中には「昨年秋から売り上げが8ないし9割が減少したままだ」とか、「厳しい取り立て

+